

若者の脱炭素に関する意識調査

埼玉県地球温暖化防止活動推進センター

1 調査の目的

若者の脱炭素に関するライフスタイルの現状と課題について調べ、今後の二酸化炭素排出削減ポテンシャルの参考とする。

2 調査対象

埼玉県在住・在勤・在席の市民 300 人（18 歳～25 歳）

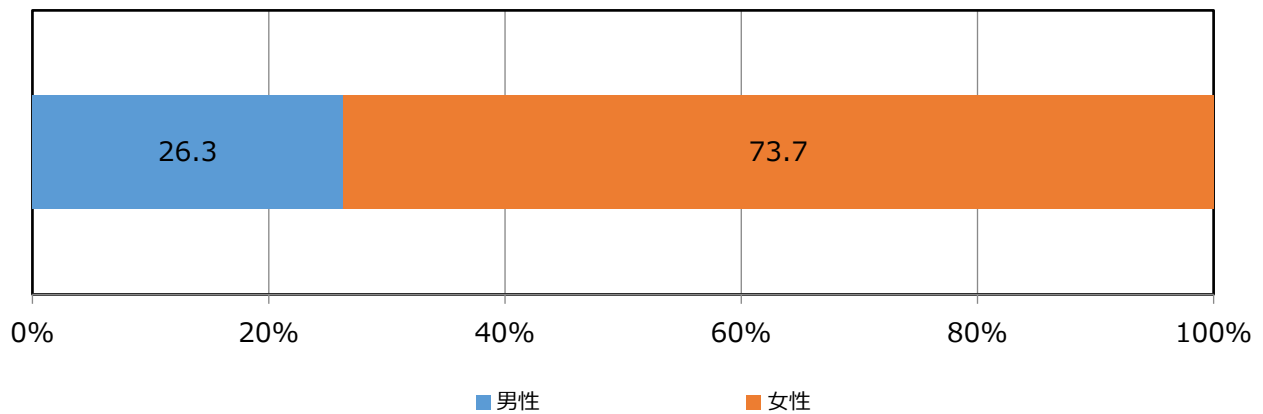
3 調査方法

環境省「令和3年度地域における地球温暖化対策促進事業」を活用し、インターネットリサーチ（株式会社アスマーク）による調査を行った。

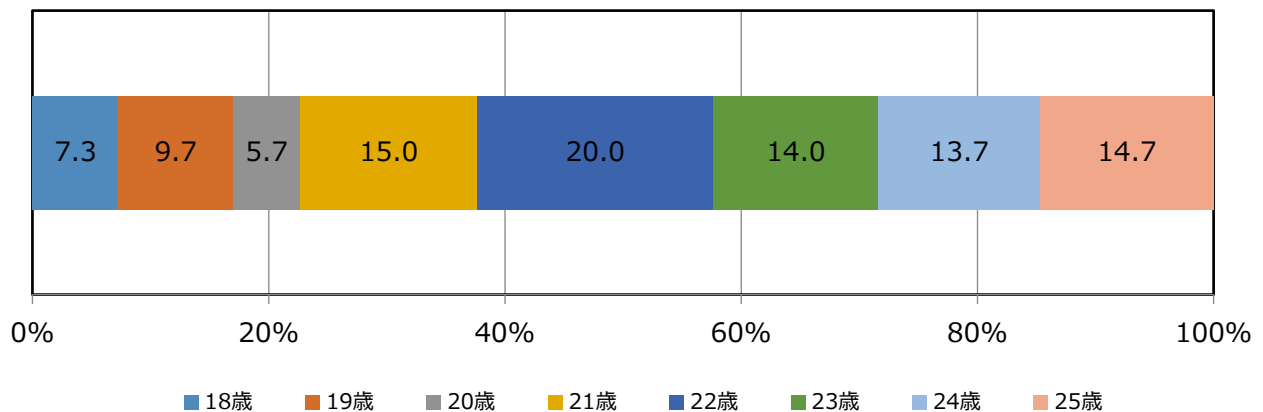
4 調査結果（単純集計）

4.1 基本属性

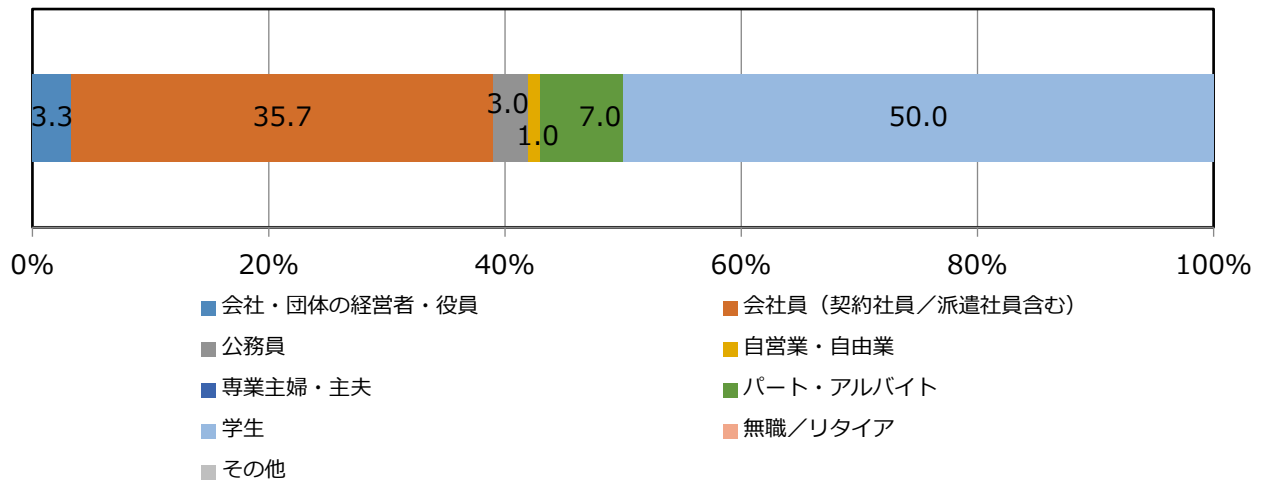
あなたの性別をお知らせください。（ひとつだけ）



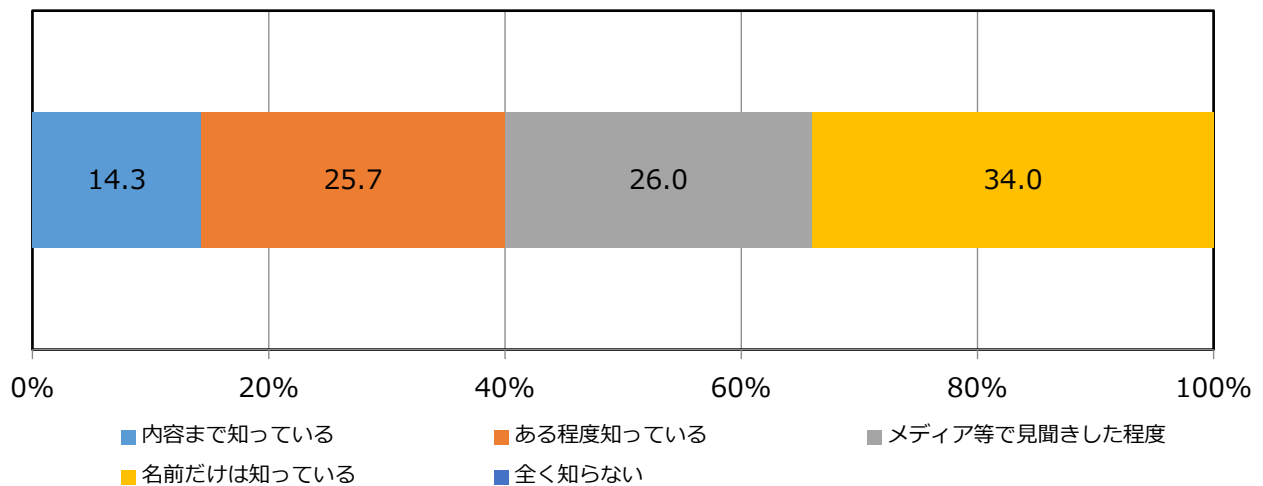
あなたの年齢をお知らせください。



あなたの職業をお知らせください。



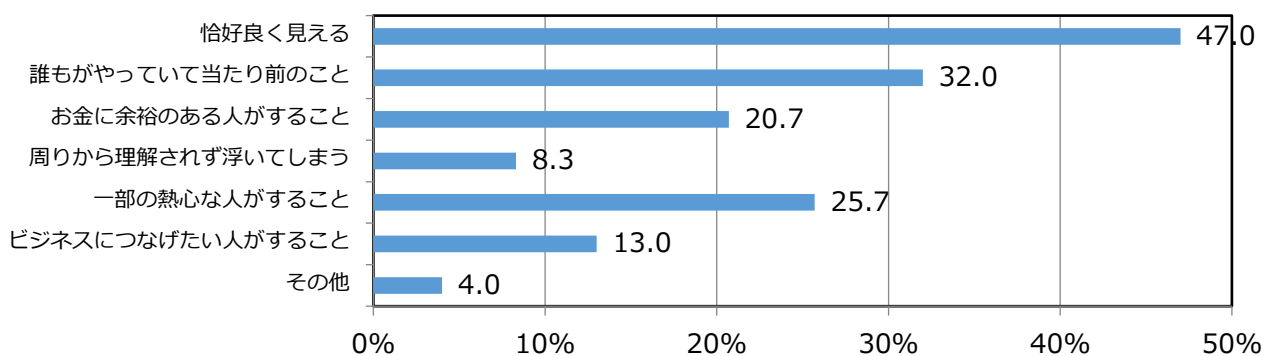
脱炭素について知っていますか。



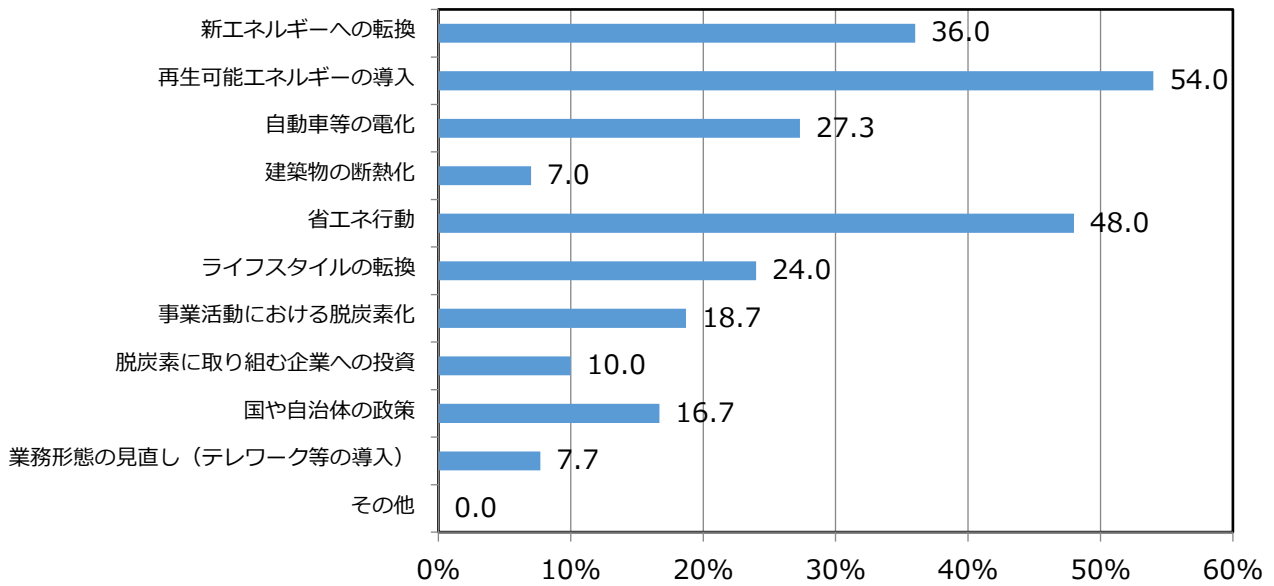
4.1 本調査

Q1. 脱炭素とは、2050年までに地球温暖化の原因となっている人為的な二酸化炭素排出量をゼロにすることです。脱炭素に取り組む人に対してどう感じていますか。

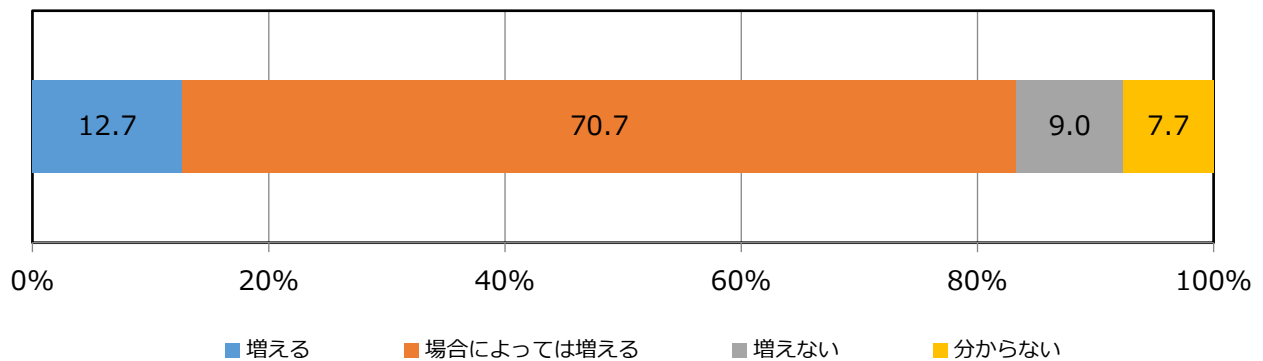
(3つまで)



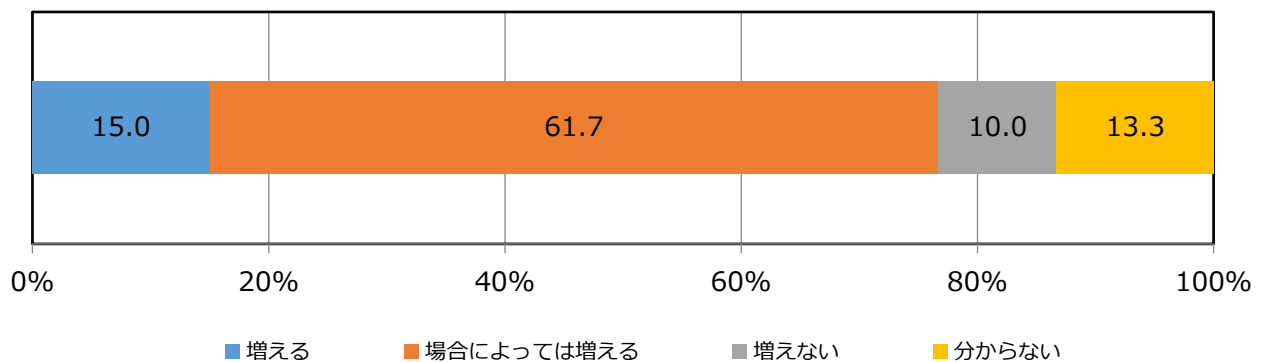
Q2. 社会的にどのような取り組みが脱炭素に貢献すると思いますか。（3つまで）



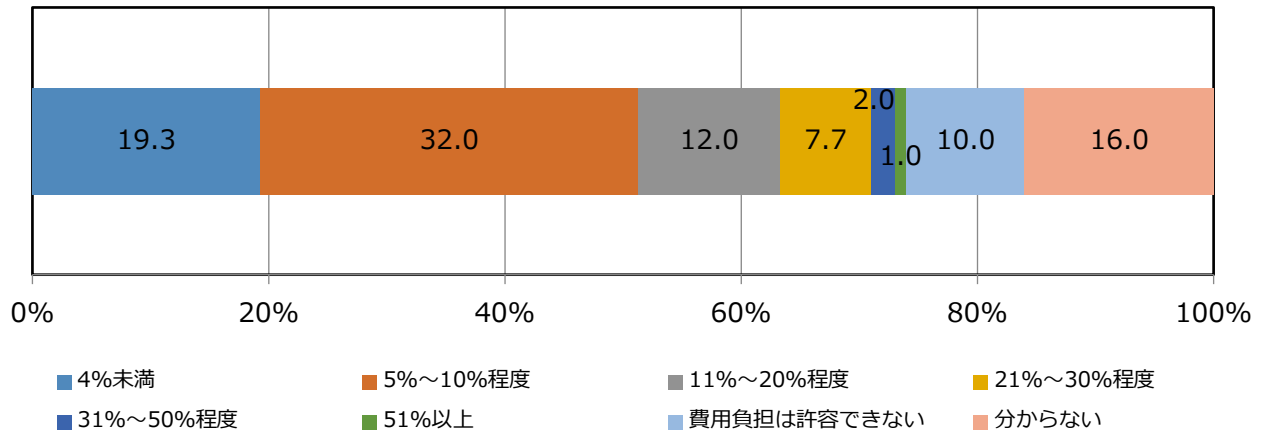
Q3. 脱炭素の取り組みが進むと、日常生活において行動等の制限が増えると思いますか。（ひとつだけ）



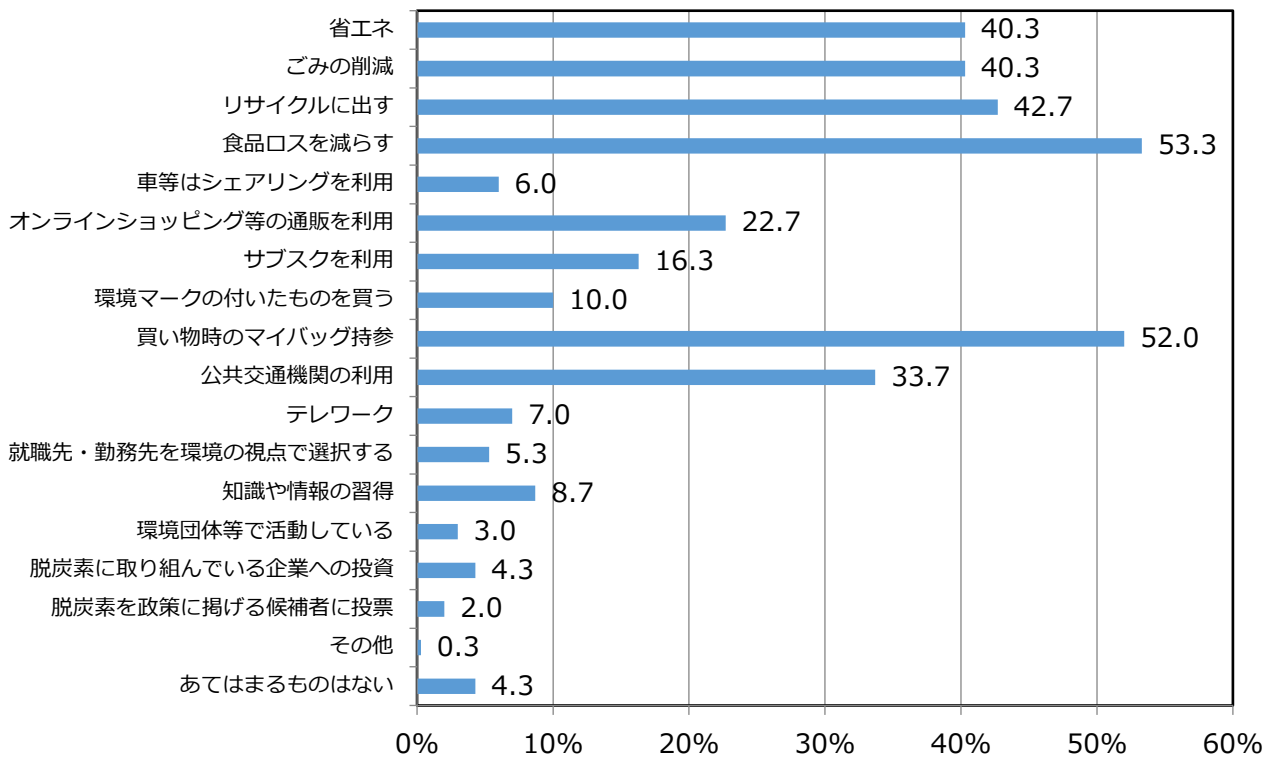
Q4. 脱炭素の取り組みが進むと、日常生活において費用負担が増えると思いますか。（ひとつだけ）



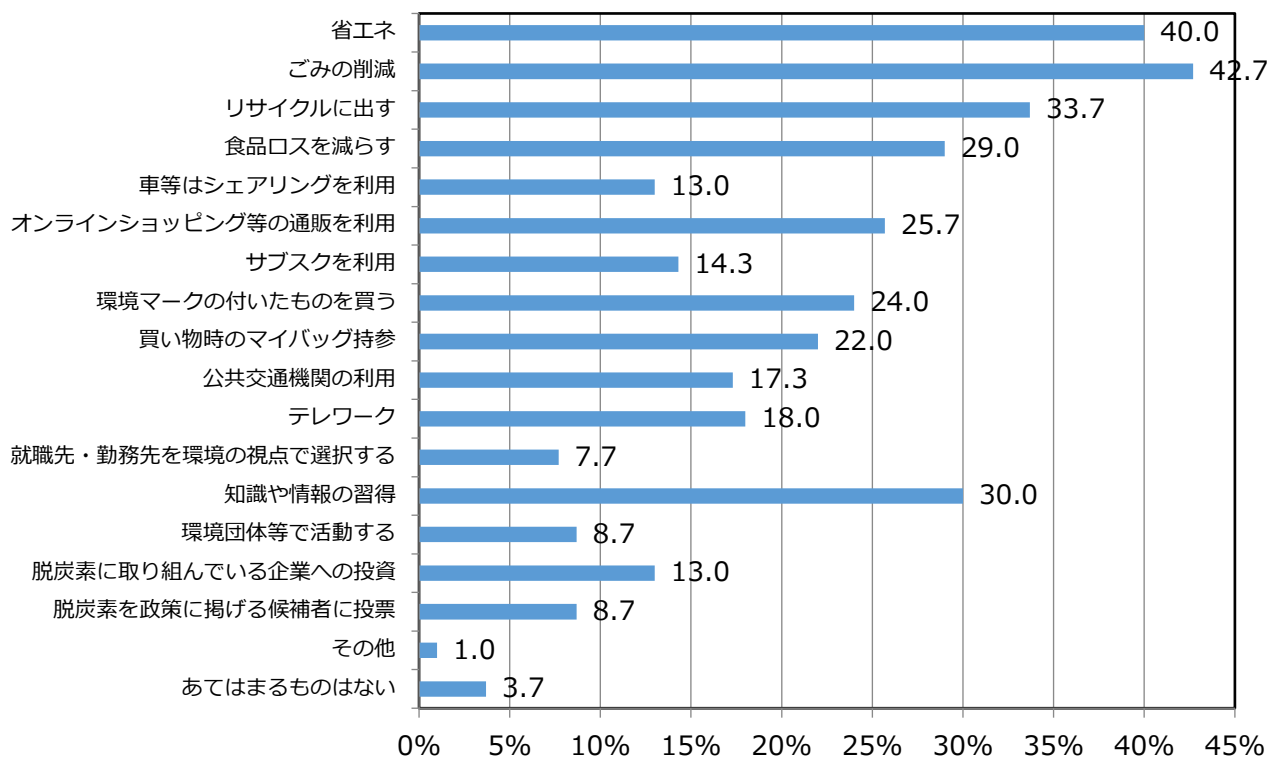
Q5. 脱炭素の取り組みが進んだ場合、日常生活での費用負担はどのくらいまでのアップなら許容できますか。（ひとつだけ）



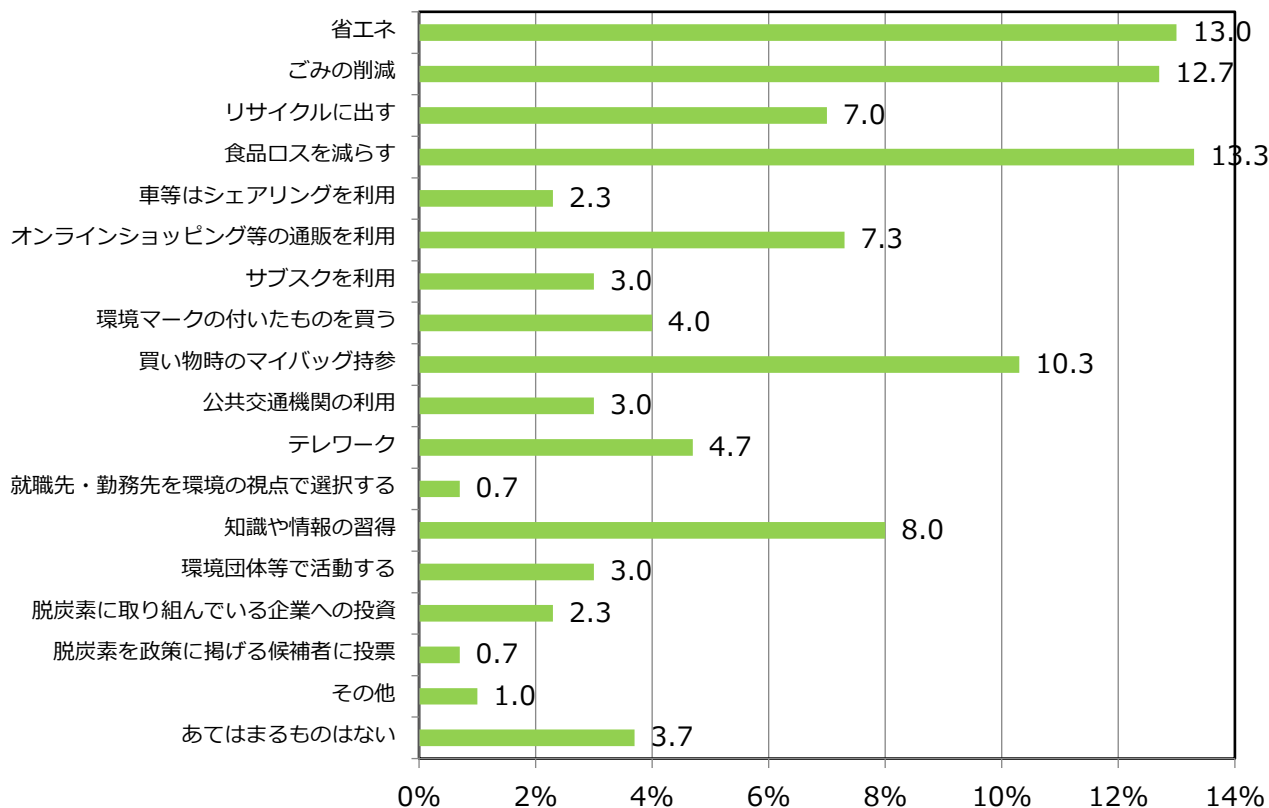
Q7. 貴方が今、脱炭素に対して取り組んでいることはありますか。普段の生活で実践していることをお知らせください。（いくつでも）



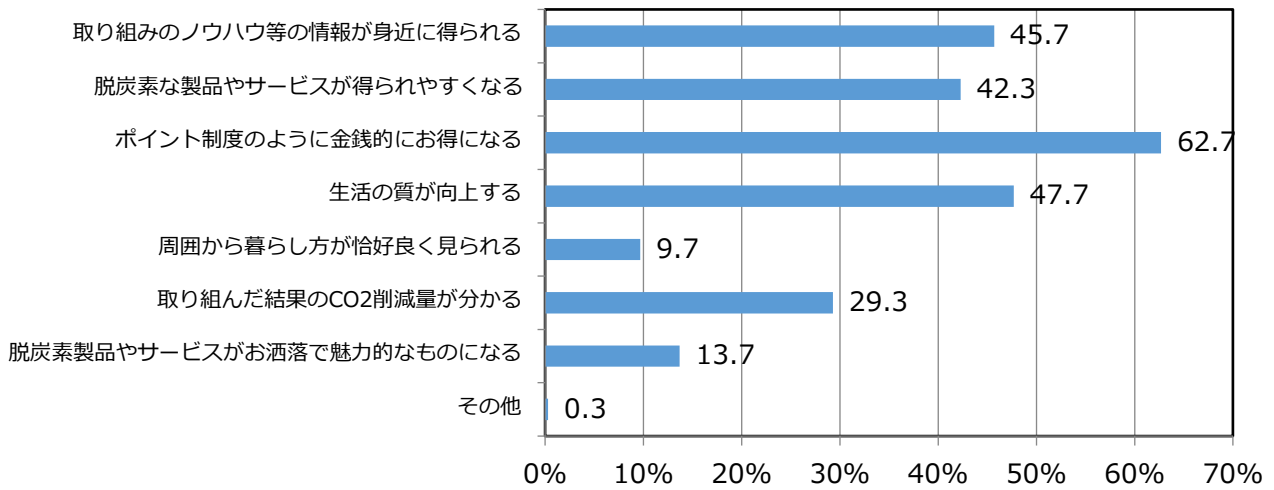
Q8-1. 今後、脱炭素に対して新たに貴方が取り組みたい、又は取り組めること。(5つまで)



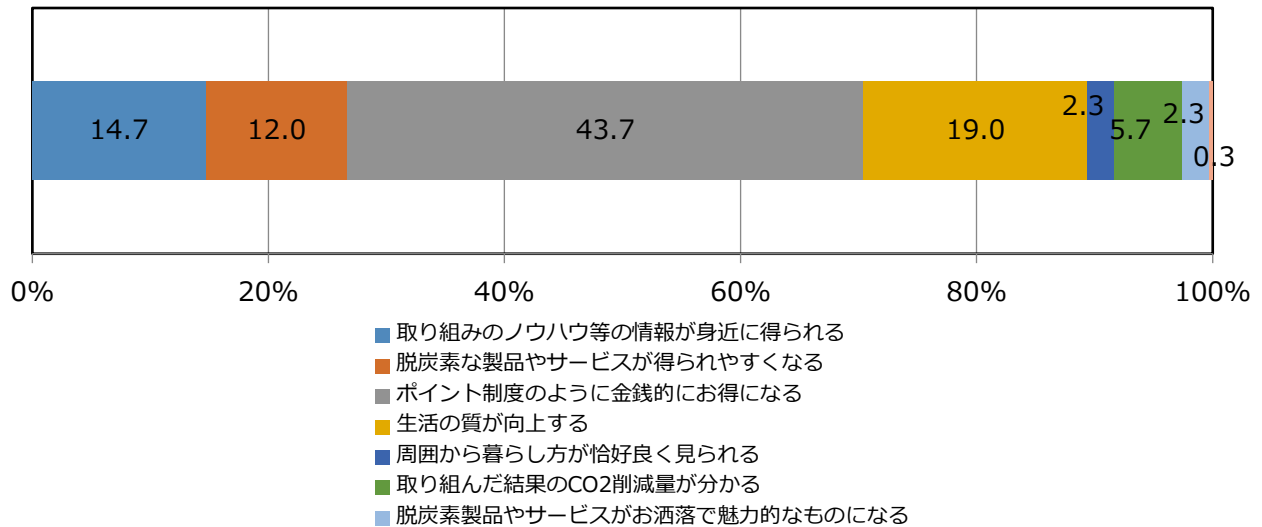
Q8-2. 最も取り組みたいこと (ひとつだけ)



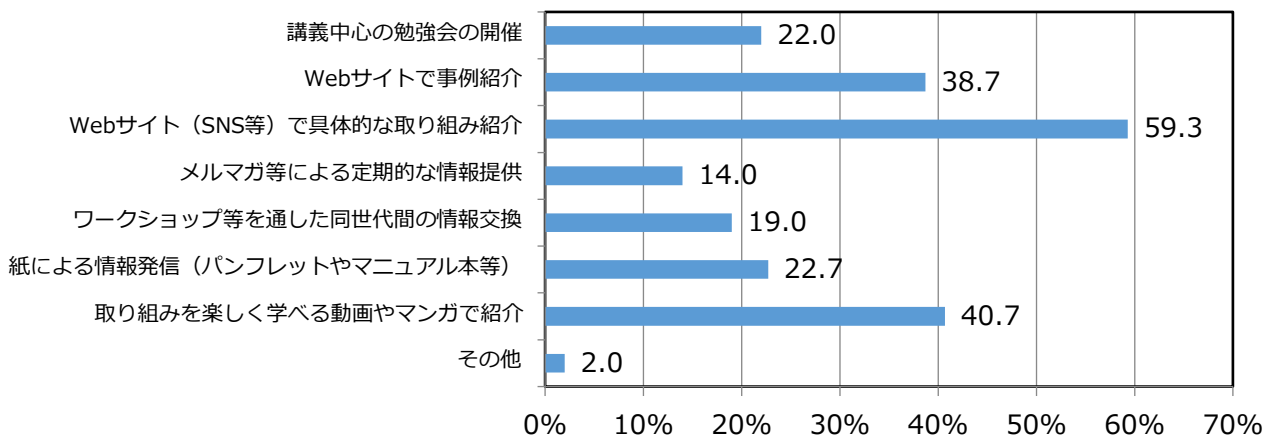
Q9-1. どのようなことがあれば身近な脱炭素の取り組みは進むと思いますか。



Q9-2. 最もあてはまる (ひとつだけ)



Q10-1. 脱炭素の取り組みについて、どのような情報提供方法があれば役に立ちますか。(いくつでも)



Q10-2. 最もあてはまる（ひとつだけ）

